

## 2015 PAS meeting in San Diego 参加報告

高槻病院 新生児小児科 郷間環

2015年4月24日から28日までの5日間、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで開催された2015 PAS (Pediatric Academic Societies : アメリカ小児科学会) meetingに参加させていただきました。今回当院からは、南原先生と私がポスターセッションに採択されました。

サンディエゴは、メキシコ国境に接するアメリカ西海岸有数の世界都市です。中心部は他のカリフォルニアの大都市同様、高層のオフィスビルが並んでいますが、街のいたるところにメキシコ文化の影響が感じられ、エキゾチックな雰囲気があります。澄みわたる青い空さわやかな海の風、そんな形容がぴったりの街でした。

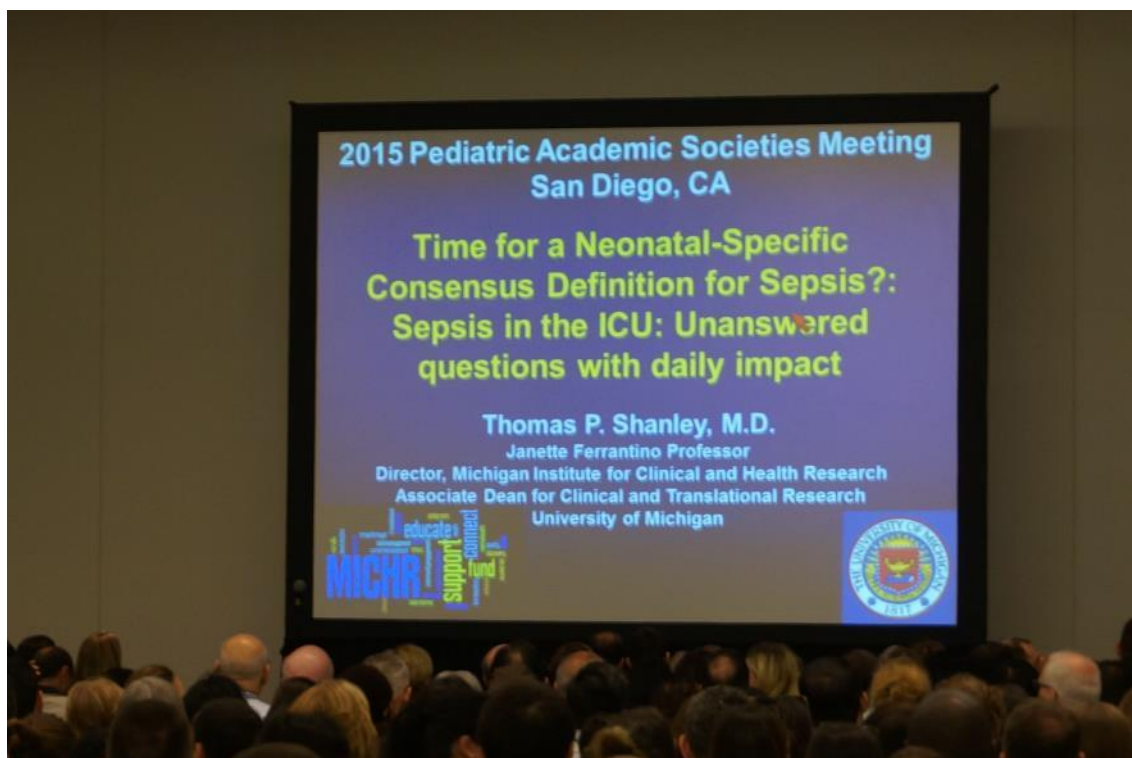
今回 PAS への参加は初めてでしたが、まずその規模の大きさに驚きました。会場の大きさはもちろん、世界中から集まった参加者の多くの研究成果を見て、非常に刺激を受ける事が出来ました。



アメリカ版黄疸管理研究会：みなさん朝食を食べながら6時半からの meeting でした。写真左側から加古川市民病院の森沢先生、神戸大学の藤田先生、黒川先生。学会期間中、森沢先生には本当にお世話になりました。ありがとうございました。



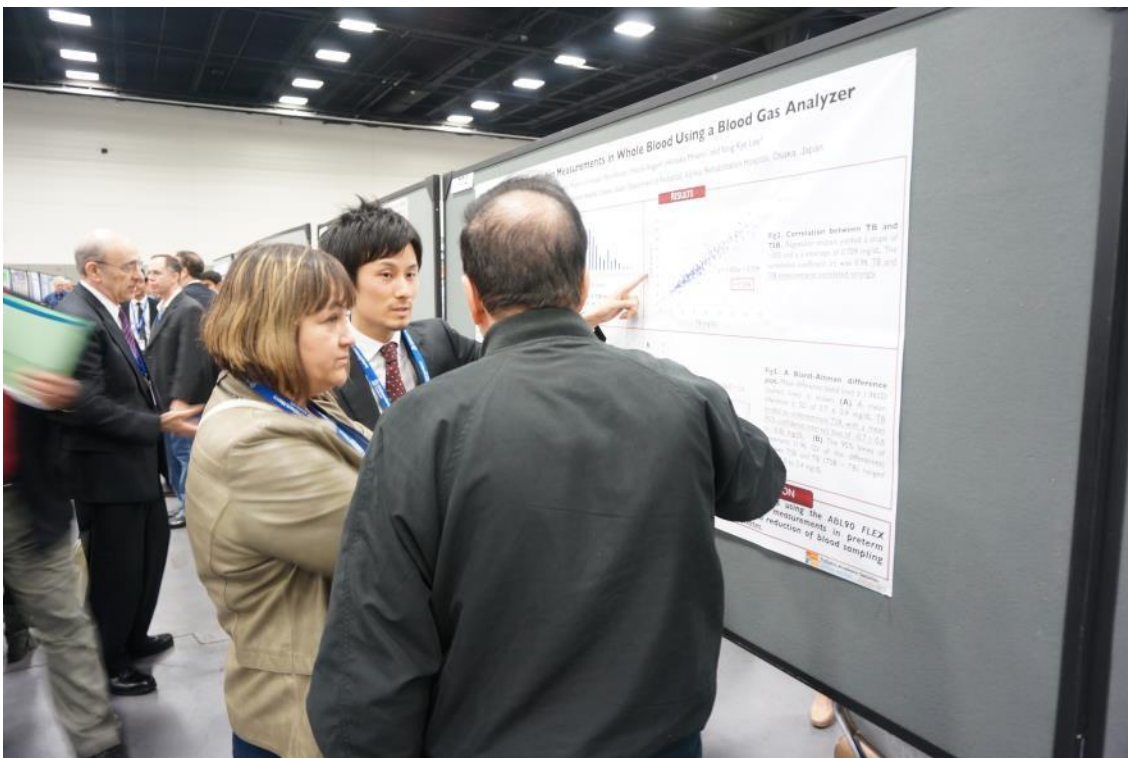
メイン会場 (San Diego Convention Center) : 毎年 7000 人以上が参加する学会とあって本当に大きな会場でした。右端に見えるのが、WBC で侍 JAPAN が優勝したペトコパーク。



教育セッション：新生児の Sepsis をテーマとしたセッションでした。一般講演は少ないのですが、こういった教育セッションが多く非常に勉強になりました。



一般演題：CLD のセッション。CLD 予防のための出生後のステロイド投与や、サーファクタント投与といった非常に興味深い発表でした。



南原先生の発表風景：血液ガス測定器による総ビリルビン測定値の高い信頼性を明らかにした発表で、多くの質問にも流暢な英語で完璧に答えておられました。



私の発表は 22-24 週出生児の ROP のリスクに関する検討でした。海外では 22 週出生児に対する蘇生は行われていないのが一般的であり、予後や管理に関する質問をたくさん受けました。苦手の英語で答えるのに汗だくでした。



Sea World : サンディエゴで最も有名なシャチによるショーです。すごかった。



当院片山 Dr.のアメリカ留学時代の恩師でおられますスタンフォード大学新生児学教室のロンさんです。私たちの Abstract、Poster のチェックもしていただきました。

以上、簡単ではありますが 2015 PAS meeting の報告とさせていただきます。このような学会に参加させて頂きまして、片山 Dr.をはじめ、高槻病院小児科の指導医の先生方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後、またこのような学会で発表できるよう、日々頑張っていこうと思います。